

舞踊詩

「FABULAE」

—フラメンコへのオマージュ—

踊り ◆ 大沼 由紀

カンテ ◆ 瀧本 正信

カンテ ◆ 西 容子

ギター ◆ 西井 つよし

ギター ◆ 山内 裕之

パルマ ◆ 伊集院 史朗

ミュージシャン ◆ 長屋 和哉

舞踏 ◆ David

フラメンコ舞踊 ◆ 大沼由紀フラメンコ舞踊団

石垣 ひろみ・伊藤 千紘・萩野 静香・沖山 美環

前原 季絵・村田 由美子・龍至 江梨子

舞台監督：やまだ てるお モモプランニング(有)

音響：山本 祐介 (株)共立

照明：田中 信行

宣伝美術：秋山 薫子

2014年 **6月15日**(日)

場所・あうるすぽっと【豊島区立舞台芸術交流センター】

開場・18時半／開演・19時

料金・6,000円(全席指定)

舞踊詩「FABULAE」

—フラメンコへのオマージュ—

フラメンコに魅せられた日本人

舞踏を踊るスペイン人

“アンビバレント” その先の、光の物語



2014年6月15日(日)

場所・あうるすぽっと

【豊島区立舞台芸術交流センター】

開場・18時半／開演・19時

料金・6,000円(全席指定)

[チケット取扱い]

制作事務局 空

fabulae@willcom.com 070-5464-1971



大沼 由紀

フラメンコ舞踊を佐藤佑子に師事。1992年渡西。マドリッド、セビージャに滞在後、ヘレスのフラメンコに強く傾倒し、帰国後も短期渡西を繰り返しながら、フラメンコと自身の関係を探り続けている。2004年、ヘレスからアーティストを招聘し、第1回大沼由紀舞踊公演「Espontánea」～フラメンコ、自然発生的な～を行う。翌年、同作品がスペイン舞踊振興マルワ財団の助成対象作品に選ばれ、再演を果たす。2007年、マドリッドのフラメンコフェスティバル「SUMA FLAMENCA」に出演。同年再びヘレスからアーティストを招聘し、「EspontáneaIII」を行う。2008年、DVD「自宅でクルシージョー7-息づかいを身体へ-」(株・パセオフラメンコ)発刊。舞踊家として活躍する一方、後進の指導にも力を注いでいる。

瀧本 正信

日本人カンタオール(フラメンコの歌い手)の草分け的存在。「El cartero(郵便配達人)」という愛称で広く知られる。1988年、セビリアの「ビエナル・デ・アルテ・フラメンコ」に出演。1995年、マドリッドのペーニャ「ロス・カパーレス」に招かれる。2004年、自身がギター、カンテ、バルマ、ハレオの4役をこなすCD「El Cartero」を発表。2006年、セビリアでソロコンサートを開催。2007年マドリッドの「スマ・フラメンカ」出演。2008年カセレスのフェスティバル出演。日本のみならずスペインでも、高い評価を得る歌い手である。



西 容子

1999年より瀧本正信にカンテを師事。スペインアンダルシア地方ヘレス・デ・ラ・フロンテーラのフラメンコに魅せられ、短期渡西を繰り返す。名門ルビッチ一家の歌い手、エバルルビッチに師事しながら、フラメンコを探究している。2008年DVD「自宅でクルシージョー7-息づかいを身体へ-」(大沼由紀編)に出演。2012年、師である瀧本氏の還暦ライブ「El viento de Andalucía」において、ドミンゴ・ルビッチ、エバルルビッチとの共演を果たす。

西井 つよし

1974年生まれ、大阪府出身。早稲田大学在学中に、フラメンコギターを伊藤しげる、瀬田彰、日野道生に師事。1996年渡西し、ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ、セビージャに1年間滞在。帰国後はクラシック伴奏などで研鑽を積み、2003年再渡西。ディエゴ・デル・モラオ、アントニオ・モジャに師事。現在は踊り伴奏にはならないギタリストの1人として、全国各地のタブラオ、舞台上で活躍中。



山内 裕之

1974年、北海道函館市出身。10代の頃から編曲・作曲・音響の仕事をする。2003年、仕事で出会ったフラメンコに魅了されフラメンコギターを始める。2004年渡西。ヘレスの巨匠、故ハリージャ・デ・ヘレス氏に師事。2008年から拠点を東京に移し、タブラオ、舞台などで活躍中。

伊集院 史朗

1974年生まれ。在学中にフラメンコに出会う。1999年初渡西。2001年、日本フラメンコ協会新人公演にて奨励賞受賞。2002年「クアトロカミーノ」結成。7回の全国ツアーを行う。2005年、「愛・地球博」スペインバビロンのアンダルシア週間に出演。2006年マリア・パヘスの「Sevilla」日本公演に出演。2007年マドリッドのフラメンコフェスティバルに参加。現在、全国の劇場等で活動するかたわら、バルマ(手拍子)でのレコーディング等にも参加している。



David

スペイン出身。日本に来る前から舞踏に興味を持ち、来日後、数々の公演に足を運ぶ。2009年、中嶋夏のワークショップにて舞踏を始める。2010年からDance Mediumのワークショップに通い始め、2011年Dance Medium公演「帰ル」に参加。同作品は2011年度第43回舞踊批評家協会賞を受賞した。2012年Korea Experimental Art Festival (KEAF)に参加。2014年シアター X提携公演「帰ル」再演に参加。

長屋 和哉

金属製の仏具や祭祀楽器を中心に演奏するミュージシャン。CD作品では他にギターやシンセサイザーなど様々な楽器を奏でる。2007年映画「地球交響曲第6番」(監督・龍村仁)に出演。映画、TVにも楽曲を提供する。また、長屋の音の魅力を追求めたドキュメンタリー「神々の響きを求めて 熊野・千年の時を超えてこだまする音」(BS-i)に出演し、反響を呼んだ。創作は音楽だけにとどまらず、1987年小説「インディオの眩しい髪」で芸芸春秋文学界新人賞佳作を受賞。2007年にはエッセイ集「すべての美しい闇のために」(春秋社刊)を上梓。濃密かつ力強い世界を言葉によっても紡ぎ出している。



大沼 由紀 フラメンコ舞踏団



石垣 ひろみ 伊藤 千紘 荻野 静香 沖山 美環 前原 季絵 村田 由美子 龍至 江梨子

振付/構成: 大沼由紀

舞台監督: やまだ てるお モモ ブランニング(有)

音響: 山本 祐介 (株)共立

照明: 田中 信行

宣伝美術: 秋山 薫子

制作: 空